

《第 62 回 一華会合宿研修大会》

★平成 2 8 年 第 62 回一華会合宿研修大会

第 62 回一華会合宿研修大会が、3 月 26 日（土）～27 日（日）の 2 日間神石郡神石高原町の三和公民館にて行われました。初日の朝は、もうそこまで春がやって来ているというのに、とても冷え込みました。しかし、会員の皆さんの熱意で両日とも合宿日和となりました。

会長の大楽華雪先生をはじめ、両日で延べ約 90 名の会員諸氏が参加し、第 68 回毎日書道展ならびに第 63 回福山市美展への出品にむけて、意欲的に作品制作しました。

また、26 日には毎日新聞社の取材もあり、渡辺未菜さんの作品制作の様子など研修合宿の様子が、翌 27 日の朝刊の記事として掲載されました。

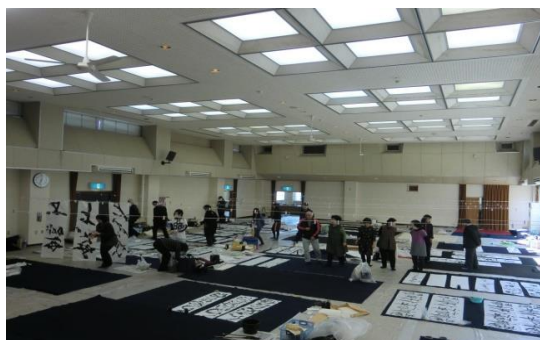
★研修合宿の風景

《3 月 26 日（土）》

- 1 0 : 0 0 参加者全員で会場作り
開会式 一華会会長 大楽華雪先生のお話より始まる



- 1 1 : 0 0 諸連絡の後、それぞれ作品制作に入る



皆さん次ぎ次ぎと書いていきます

<毎日新聞社の取材

模範揮毫

渡辺 未菜さん>



頑張ってます



もう一枚

そして2枚 始終 笑顔で書き上げました



<一華会会長 大楽華雪先生のお言葉>

書体 木簡風を取り入れた漢代の隷書です。感心したのは、2枚書き上げましたが全く同じではないところが、渡辺さんの力です。これまで木簡の臨書を書いてきたことを、うまくこなして、1点書いても2点書いても、それぞれ違ったものが書けました。「風」も「動」も2点とも違っていて創作の冥利です。若々しく雄大な作品になりました。これから、もっともっと書き込んでいてもらいたいです。チャーミングで若々しく、線が生き生きしていることに感心しました。

12:00 参加者全員で和やかに昼食



お腹ペッコペッコ 美味しそうです

お弁当食べて



お昼からも頑張ってます

13:00 作品制作
午後の部

作者の思いがあるからね
と大楽華雪先生



大楽華雪先生の暖かい
眼差し

会員一人一人に声をかけて
いただきアドバイス

18:30 夕食

それぞれのタイミングでいただく



筆の特性を知りましょう



20:00 作品制作 1日目 終了

《3月27日(日)》

8:00 作品制作 2日目 スタート

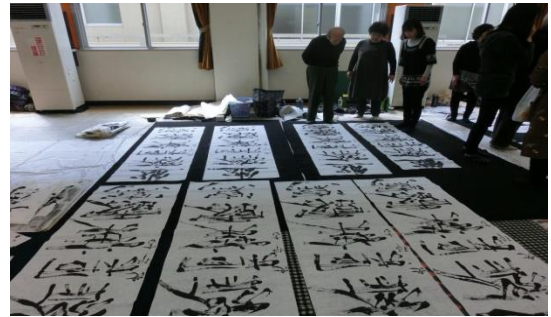
良い線が出ましたね
線に響き輝きをもたせ
余白をいかしましょう



参加者の作品への想いを
聞いていただきます



どんどん作品が出来てきます



12:00 昼食

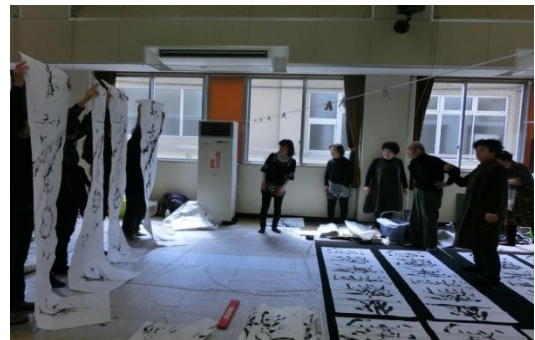
個々の良いときにいただく



13:00 ラストスパートです もう少し頑張りましょう



それぞれ書き上げた作品の中から選んでいただきます



15:00 全員で片付け 来た時よりも綺麗に、をモットーに

16:00 閉会式



2日間の疲れもありましたが
皆さん生き生きされている様な…

会長 大楽華雪先生をはじめ 助講師の先生方、大変お世話になりました。

会長大楽華雪先生のお言葉

お疲れさまでした。合宿の成果が出たように思います。市美展の作品も毎日展の作品も良いのができました。去年は市美展の作品はもうちょっと書いた方がいいかな、と思う作品がありました。今年は合宿に参加した方の作品には、雅印を押しても良い作品が多くできました。作品作りがうまくなってきました。初出品でもなかなかいい作品ができました。ほとんどは、合宿で書いた作品が、良い作品と言えるでしょう。充実した良い合宿であったと思います。

筆が線を作るという事、命の作品を作るという事。若い時はうまく書けないことも、50年 60年と書き続けると、人間が良い線を出し、いい作品を作れるようになります。人のまねをしないで、自分らしい作品を、思い切って書いてほしいです。若い人に希望を持ってほしい、と思います。また秋の合宿でお会いしましょう。

一華会研修部より

参加者の皆さん2日間ありがとうございました。合宿は日頃経験できない素敵な事と出逢える所だと思います。それは人であったり、道具であったり、自分自身の知らなかった所だったり、できなかった線が表現できるようになったり…。それらが作品制作に活かされれば良いな、と私自身思っています。それぞれ忙しい毎日ではありますが、健康に気をつけて、また元気でお会いしましょう。